

保護者との 未来としまミーティング 報告書



高際区長と
語ろう

区政や区民生活に関わる様々なテーマについて
区長が区民の皆さんとともに語り合います

未来としまミーティング



開催日時：令和7年7月26日（土）
午前9時30分～10時30分
（集合時間 午前9時15分）
テーマ：豊島区の不登校対応について

■ 日時

日 時：令和 7 年 7 月 26 日（土） 9 時 30 分～10 時 30 分

場 所：教育センター 第 2 研修室

担当課：企画課、教育センター

■ 実施方法

以下のテーマによる意見交換を 1 グループで行う。

【テーマ】

豊島区の不登校対応について

■ 参加者数

区立小・中学校に在籍している不登校(経験者含む)児童・生徒の保護者 7 名

■ 出席者（区側）

豊島区長 高際みゆき

豊島区教育委員会教育長 清野正

豊島区教育委員会教育部長 岡田英男

豊島区教育委員会不登校対策スーパーバイザー 黒沢正明

■ 主な意見（要約）

ご意見について

- (1) 学校への行き渋り段階から不登校になるまでの間の支援拡充
不登校になった子どもへの支援は充実していると感じるが、行き渋りがあり、
どうしてよいかわからない時間があった。
友達作りが苦手な子どもの様子に不安を感じ、無理に学校に行かせようとした
が、ますます学校への意欲を失ってしまった。
- (2) 支援情報がどこにあるか分かりづらい
担任に聞いてもわからないと言われた。自分たちで見つけ出すしかなかったため
支援を受けるまでに時間がかかってしまった。担任にすべてを任せるのは現実的
ではない。
- (3) 学校・教員により対応が異なる
- ①オンライン授業を受けられないことがあった。今年度は積極的に支援してくれ
感謝している。オンライン授業があれば、それに合わせて生活リズムを整えよう
とすることができる。
 - ②学校から保護者への連絡頻度が適切（多すぎず、少なすぎず）だとプレッシャー
を感じにくくなり助かる。
 - ③学校への相談先が担任しかいない時があり心配
副校長・校長へ相談するのは敷居が高い。生活指導主任が相談先の時もあるの
だが、担任が生活指導主任の場合、担任に関する相談ができない。
- (4) 小学校にも心が苦しい時の居場所があればいい
保健室で休める条件が不明に感じる（「なぜうちの子が休むことができず、あの
子は休んでよいかわからない」ということがあった）。
安心できる場所やカウンセリングしてくれる場所が必要であると思う。
- (5) 登校支援学級スリジエの入級までの流れについてわかりやすくしてほしい
就学相談にいったら担当ではないと言われた。担当から連絡がくるものだと思っ
ていて、今後について待っている認識でいた。
また、在籍校の校内教育支援センター（校内別室）は狭く感じる。今後、利用
する生徒がもっと増えてきたら入りきらなくなるため、環境を改善してほしい。

【その他】

- (1) 柚子の木教室の存在はとてありがたい。弁当があることもとてありがたい。
いつか給食が食べられることを期待して給食費は払い続けていた。無償化されたが、学校に行かれない間はその恩恵はうけられない。
(前にいた自治体に比べてとてよくしてくれている)
- (2) スリジエに通えるようになり、成績つけてもらったことがよろこびになった
- (3) 校内教育支援センター（校内別室）について相談したら、来週と言わずに困っていたら明日にでもきたらいいと親切的な対応をしてくれた。
- (4) このような会を企画し、話を聞いてもらってうれしかった。

ミーティングを終えて

<区長より>

- ・やらなくてはいけないことに向けて、多くのヒントをもらったと思います。まだ、お昼を挟んで倍ぐらいやりたいぐらいです。本当にいい機会だったと思います。
- ・教育問題は私たち、区役所全体の課題と捉えてやっていきますので、今日で終わりと
思わずに何かあれば、遠慮なく言っていただければと思います。

<教育長より>

- ・多様な学びの場を、これからももっともっと充実させていかなければいけない
と思います。オンラインももちろんそうですし、柚子の木教室や校内教育支援センター
(校内別室)なども進めていきたいと思います。
- ・支援に必要な情報が途切れることなく保護者の方に伝わるような取り組みを、さらに
充実させていきたいと思います。
- ・やはり学校です。教員が指導改善にもっと努力しなければならないところが多々ござ
いますので、これをしっかりと前に進めていきたいと思います。
- ・今後に向けて、懇談会を企画しているところです。連絡ツールなどを通じて保護者の
皆様には日程をお知らせいたします。そちらの方でも、ご意見をいただけたらと思っ
ております。

■ 当日の様子



不登校に関する区の現状について説明



活発な意見交換の様子

■ 参加された方の感想

- ・子どもの居場所を作ることに焦点を当てて考えている豊島区に引っ越してよかった。
- ・不登校は問題行動ではない、教育の受け方を選択できる世の中になったら個性の強い我が子たちは生きやすくなると思っています。
- ・通常学級と校内の居場所について、連携してもえるよう配慮があるとありがたいです。
- ・不登校の現状について、ご対応いただきありがとうございます。今日はたくさんの意見を伝えさせていただき希望がもてました。
- ・親身になって話を聞いていただいてありがたいと感じました。不登校の現状は一人一人違うようで考えさせられました。

令和7年8月 編集・発行 教育部教育センター
問い合わせ:03-3590-1251(所管課電話番号)